

## 行政視察報告書

視察報告者 泥谷 郁

【視察期間】 令和1年10月16日(水)～10月18日(金)

【視察先】 鳥取県倉吉市

【視察日】 令和1年10月16日(水) 14:30～16:30

【視察事項】 「レトロ&クールツーリズムによる観光の取組について」

### 【視察概要】

倉吉市は、レトロ「土壁土蔵群」とクール「キャラクターグッズ」が融合・挑戦するまちとして、新たな伝統への挑戦を始め、レトロだけではなくキャラクターグッズのまちなか展示等、レトロとクールが融合・調和する倉吉観光を全市あげて応援している。

### 【所感】

土壁土蔵群は、年間60万人が来訪する倉吉観光の中心地であるが、平均滞在時間が2時間以内と短く、白壁土蔵群以外の周辺観光スポットへの回遊や観光消費に繋がっていない現状にある。平成26年世界的フィギュア製造メーカー(株)グッドスマイルカンパニーの日本初の倉吉工場を誘致。生産されたフィギュアや倉吉がモデルとされる「ひなビタ」の舞台となっているインターネット上の架空都市と企業が連携し、認知拡大、訪問増につなげている。

平成28年フィギュア博覧会を倉吉博物館にて開催、全国から2万5千人の来場を記録する等実績をあげ、倉吉を第2の故郷として何度も訪れるリピーターも多いとの報告を受けました。

本市においても、高崎山自然動物園やうみたまごに代表される観光施設はありますが、今後は隠れた観光資源の有効活用にも力を入れ、レトロとクールが融合するまちづくりを目指していきたいと思えます。

【視察先】 岐阜県高山市

【視察日】 令和1年10月17日(木) 13:30～15:30

【視察事項】 「協働のまちづくりについて」

#### 【視察概要】

高山市では、協働のまちづくりを「市民が主役という理念に基づき、市民、地域住民組織、事業者、行政等が、お互いの存在意義を認識し、尊重し合い、お互いの持てる能力を発揮し、ともに手を携えて、地域課題に取り組んでいる。

#### 【所感】

地域を維持、改善、振興する活動を支援するため、各地区のまちづくり協議会の取り組みに対して、財政支援制度を創設。支援金の規模は、総額2億5千万円程度で、均等割(60%)、人口割(30%)、面積割(10%)を基準に算出した額を上限額とし、対象8事業に交付されるが、ユニークな事業で産業の振興に関する事業があり、地産地消のメニュー開発に充てられるご当地ならではのものです。大変感銘を受けました。

協働のまちづくりの取り組みに対して、地区担当職員を配置。行政職員としての知見を活かしてまちづくりの方向性や事業の適性に対して意見を述べるとともに、各部局との連携を図るため、主幹級以上の職員を各地区に2名配置。各地区からの要望への対応を行うとの報告を聞いた時に身近な行政運営を肌で感じました。

最後に、地域の人材育成の重要性に触れ、地域リーダーを対象に、組織マネジメントや地域活動のコーディネート術の研修等を積極的に開催し新たな人材発掘を行っている姿勢は、本市においても参考になりました。